

2019年3月期 本決算概要

2019年5月9日

千代田化工建設株式会社

目次

1	本日の説明ポイント	2
2	工事損失・リスクの見直し	3
3	業績概要	4
4	損益計算書項目	5
5	受注高	6
6	受注残高	7
7	完成工事高	8
8	バランスシート	9
9	財務強化策概要	10
10	優先株概要	11
11	三菱商事株式会社への優先株割当	12
12	融資による資金調達概要	13
13	2020年3月期・通期業績予想の内訳	14
14	主要遂行中案件の現況	15

1. 本日の説明ポイント

- ◆ 工事損失・リスクの厳格な見直しを実施
- ◆ 受注実績は計画通り、受注環境も良好
- ◆ 財務強化策の実施
- ◆ 再生計画 「再生と未来に向けたビジョン」

2. 工事損失・リスクの見直し

- ◆ 「戦略・リスク統合本部」が外部人財の目を入れて、これまでのリスク管理に加えてさらに厳格に総点検、再査定
- ◆ 大型LNG案件: キャメロン/タングー
 - 米国現地作業員の低い生産性とキャメロン第1系列の工事最終盤に発生した想定外の追加コストを踏まえ、完工迄に必要なコストを再査定
 - タングーは様々な複合要因によってプロジェクトの進捗が大きな影響を受け、コストを再精査
- ◆ 仲裁・裁定を抱える案件
 - リスクを再査定
- ◆ その他案件
 - 国内・海外の中小案件のリスク見直し

3. 業績概要

単位: 億円

	18/3 4Q	19/3 4Q	前年 同期比	伸び率	通期予想 <small>※2018/10/31 修正</small>	達成率
受注高	3,012	7,716	4,703	156%	8,000	96%
受注残高	6,535	10,164	3,629	56%		
完成工事高	5,109	3,420	△1,690	△33%	4,000	86%
営業利益	△123	△1,998	△1,875	—	△865	—
経常利益	△101	△1,930	△1,829	—	△865	—
純利益*	64	△2,149	△2,213	—	△1,050	—
為替レート	106円/\$	111円/\$			修正想定レート 115円/\$	

*親会社株主に帰属する当期純利益

4. 損益計算書項目

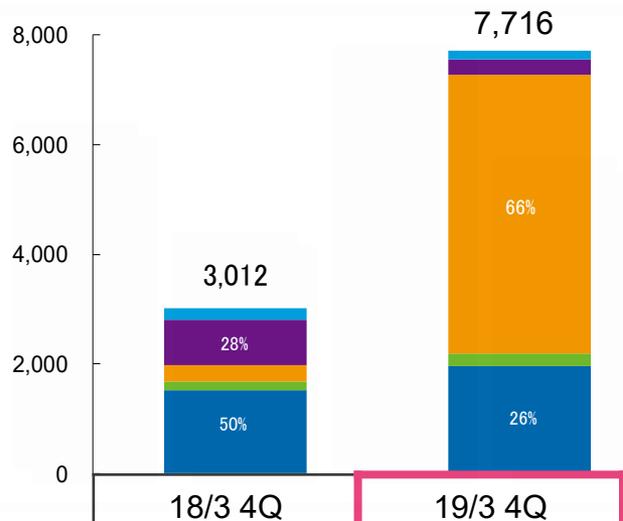
単位: 億円

	18/3 4Q	19/3 4Q	前年同期比	通期予想 ※2018/10修正
完成工事高	5,109	3,420	△1,690	4,000
完成工事総利益	86	△1,811	△1,898	△680
販売費及び一般管理費	△209	△186	23	△185
営業利益	△123	△1,998	△1,875	△865
営業外損益	22	68	46	0
経常利益	△101	△1,930	△1,829	△865
特別損益・税金・非支配 株主に帰属する純利益	165	△219	△385	△185
純利益*	64	△2,149	△2,213	△1,050

*親会社株主に帰属する当期純利益

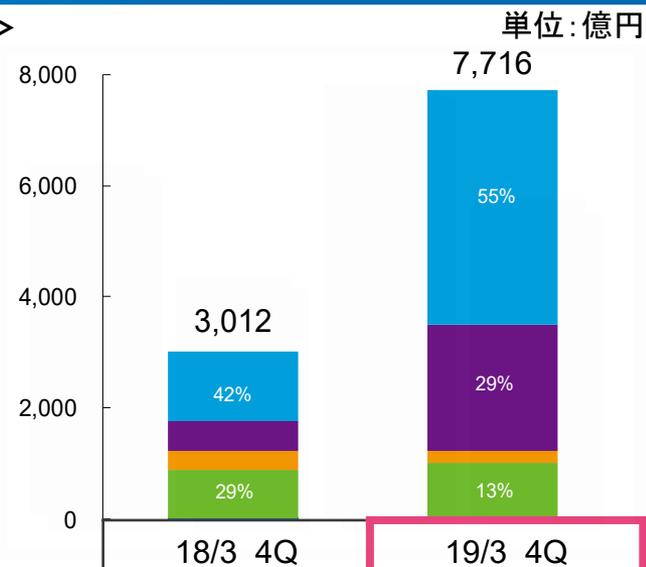
5. 受注高

<地域別>



■ 中近東・アフリカ	205	155
■ アジア・オセアニア	831	276
■ 北中南米	307	5,105
■ その他	152	215
海外 合計	1,495	5,750
国内 合計	1,517	1,965

<分野別>



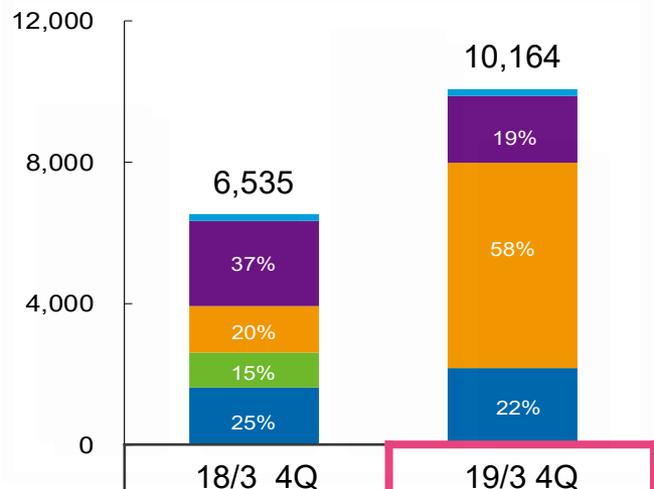
エネルギー	■ LNG・その他ガス	1,259	4,214
	■ 石油・石油化学・金属	526	2,271
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	351	220
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	876	1,011

<主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	エチレン(米国)、ゴールデンパスLNG		ヤマルLNG追加工事
国内			バイオマス発電、蓄電池システム建設

6. 受注残高

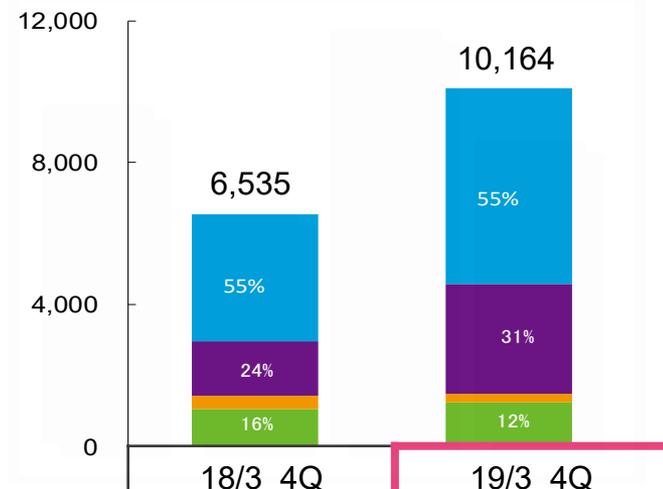
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	192	194
■ アジア・オセアニア	2,423	1,915
■ 北中南米	1,310	5,879
■ その他	978	1
海外 合計	4,903	7,988
国内 合計	1,632	2,175

<分野別>

単位: 億円



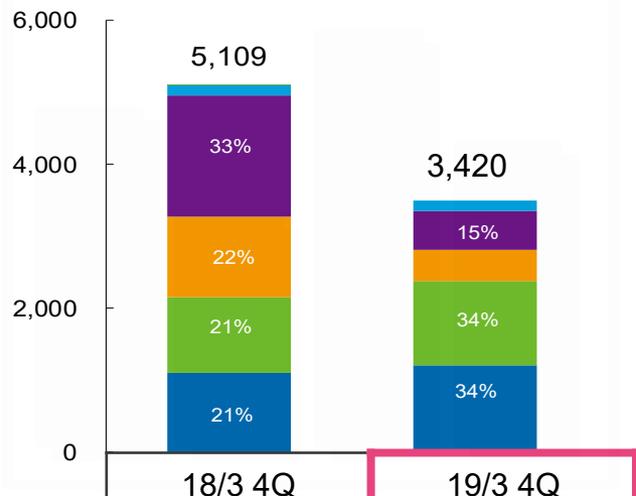
エネルギー	■ LNG・その他ガス	3,566	5,575
	■ 石油・石油化学・金属	1,550	3,111
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	361	240
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	1,058	1,238

<主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	エチレン(米国)、ゴールデンパスLNG	キャメロンLNG、タングーLNG	フリーポートLNG、イクスLNG
国内			バイオマス発電、蓄電池システム建設、メガソーラー、石化案件

7. 完成工事高

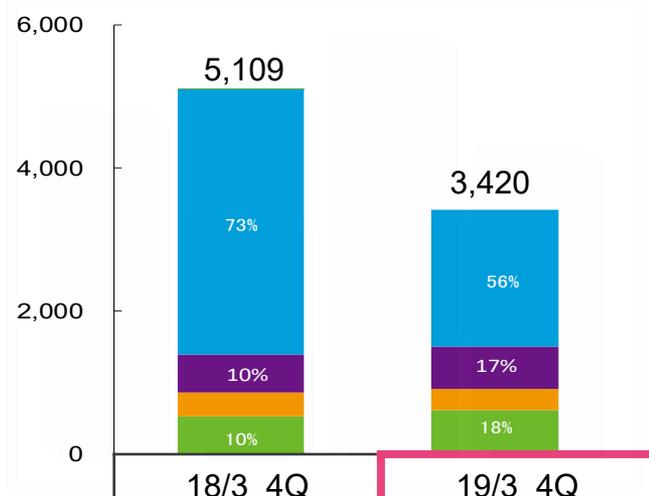
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	145	152
■ アジア・オセアニア	1,693	537
■ 北中南米	1,123	355
■ その他	1,050	1,172
海外 合計	4,011	2,216
国内 合計	1,098	1,204

<分野別>

単位: 億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	3,728	1,916
	■ 石油・石油化学・金属	527	602
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	337	288
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	517	614

<主要案件>

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	ヤマルLNG		イクシスLNG、フリーポートLNG、エチレン(米国)

8. バランスシート

単位: 億円

	18年3月末	19年3月末	増減
【流動資産】	3,745	3,269	△475
現金及び預金等 *1	1,040	695	△346
営業資産三勘定 *2	928	761	△167
未収入金	424	659	235
JV持分資産 *3	1,314	1,110	△204
その他	39	44	5
【固定資産】	459	254	△205
有形固定資産	121	117	△4
無形固定資産	57	53	△4
投資等	281	84	△197
【資産】	4,203	3,523	△680

	18年3月末	19年3月末	増減
【流動負債】	2,478	3,925	1,447
営業負債三勘定 *4	2,239	2,975	736
工事損失引当金	33	676	643
その他	206	272	66
【固定負債】	131	190	59
長期借入金	100	159	59
その他	31	31	0
【純資産】	1,594	△592	△2,186
株主資本	1,561	△609	△2,170
その他	33	17	△16
【負債・純資産】	4,203	3,523	△680

【注】

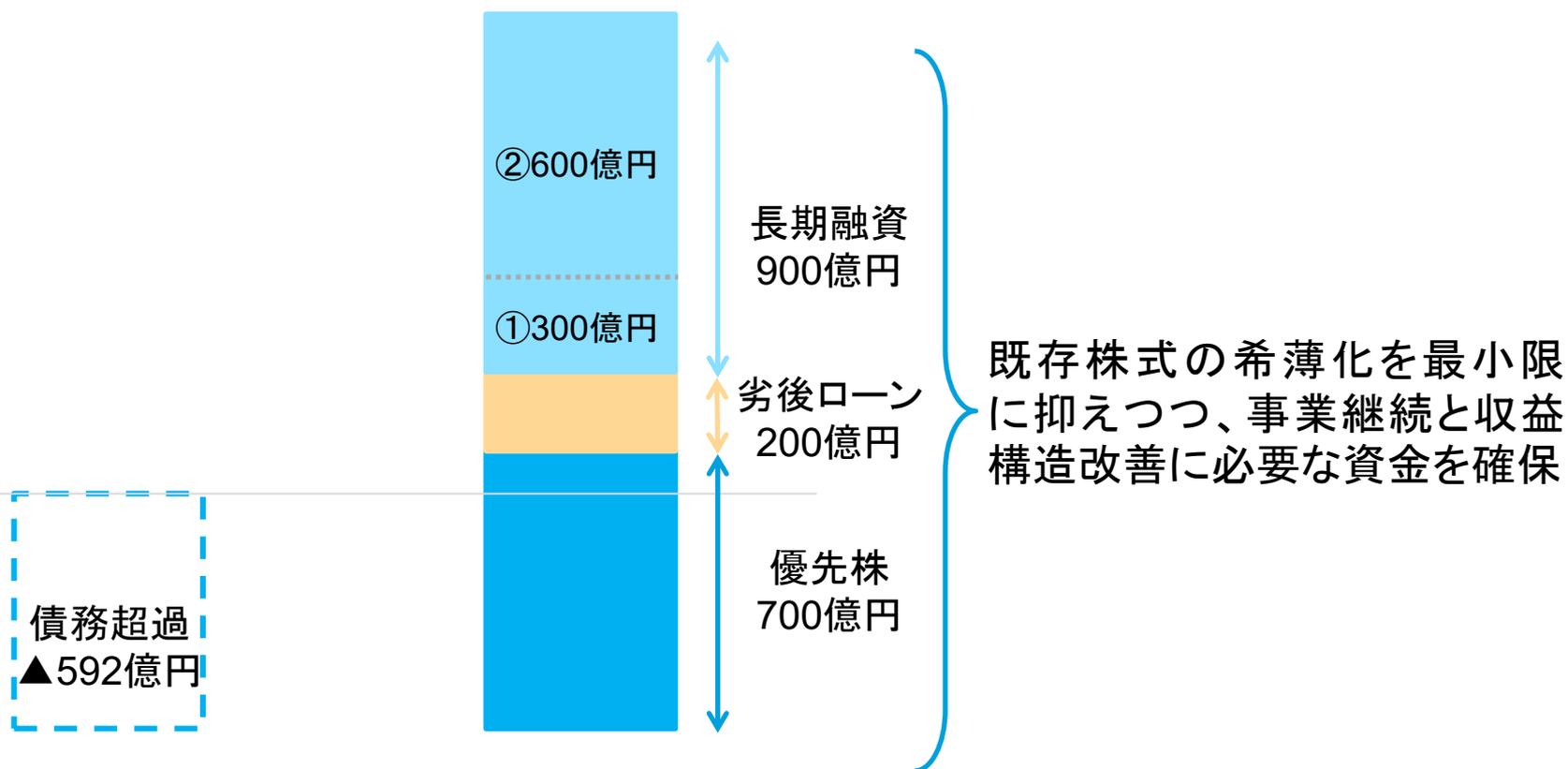
- *1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- *2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- *3 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- *4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

【自己資本】	1,576	△601	△2,177
【自己資本比率】	37.5%	△17.1%	△54.5pt

9. 財務強化策概要

再生計画実行のため、1,800億円の資金を調達

- 三菱商事株式会社: 優先株・長期融資
- 三菱UFJ銀行 : 劣後ローン



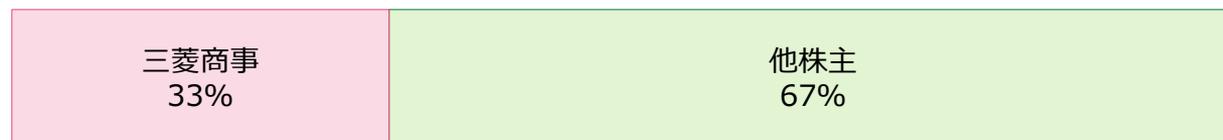
10. 優先株概要

◆ 優先株による資本調達

- 配当は普通株に優先、議決権は無し
- 一定期間後に償還が可能
- 三菱商事株式会社は普通株への転換請求が可能
 - ⇒ 現時点で、即時の普通株式への転換を通じた市場への売却は意図していない旨を確認済
 - ⇒ 仮に全ての優先株が普通株に転換された場合、三菱商事株式会社の議決権は8割を超える見込み (既存株主の割合は希薄化)

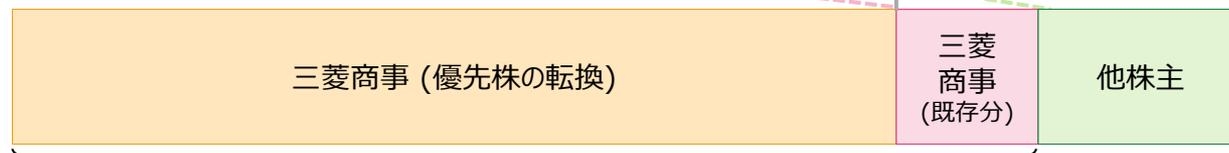
優先株が全て普通株に転換された場合の議決権イメージ

< 転換前 >



既存株主の割合は約1/4に希薄化

< 転換後 >



11. 三菱商事株式会社への優先株割当

A種優先株式割当内容		
1	株式数	175,000,000 株
2	払込金額	700億円(1株につき400円)
3	払込期日	2019年7月1日予定(*1)
4	剰余金の配当	固定、期間中3%(普通株主に優先して配当)
5	議決権	無し
6	普通株転換請求権	行使可能時期:2019年7月1日以降 転換価格:100円(*2)、転換価額修正条項無し
7	三菱商事株式会社による取得請求権	2021年7月1日以降行使可能
8	当社による取得条項	2021年7月1日以降行使可能
9	上記7・8における取得価格	以下の何れか高い方 ①行使時点の市場価格×基準株式数(*3) ②優先株式発行金額+累積未払配当

(*1)6月25日開催定時株主総会において特別決議に諮り、諸条件を充足した時点

(*2)交付される普通株式数:転換請求される優先株式1株に対して、400円に行使時点での累積未払配当金相当額を加えた額を、転換価格で除した数値を普通株式として交付する。

(*3)基準株式数:400円に行使時点での累積未払配当金相当額を加えた額を、転換価格で除した数値

12. 融資による資金調達概要

1. 三菱商事株式会社による長期融資

長期融資契約内容		
1	借入金額	①300億円、②600億円
2	借入金利	①2019年7月までの融資条件に合意済。その後の条件について継続協議中、②1.50%水準(保証料含)
3	借入期間	①最大5年間、②最大5年間
4	担保の有無	①あり、②なし
5	劣後条項	①なし、②なし

2. 三菱UFJ銀行による劣後ローン

劣後ローン基本契約内容		
1	借入金額	200億円
2	借入金利	2.50%
3	借入期間	5年間
4	担保の有無	なし
5	劣後条項	あり

13. 2020年3月期・通期業績予想の内訳

単位: 億円

	19年3月期 実績	20年3月期 予想	前期実績比
受注高	7,716	5,500	△2,216
海外	5,750	4,300	△1,450
国内	1,965	1,200	△765
完成工事高	3,420	3,900	480
海外	2,216	2,500	284
国内	1,204	1,400	196
完成工事総利益	△1,811	290	2,101
販売費及び一般管理費	△186	△170	16
営業利益	△1,998	120	2,118
営業外損益	68	0	△68
経常利益	△1,930	120	2,050
特別損益・税金・ 非支配株主に帰属する当期純利益	△219	△60	159
純利益*	△2,149	60	2,209

*親会社株主に帰属する当期純利益

14. 主要遂行中案件の現況

プロジェクト	フリーポート LNG		キャメロン LNG	タングー LNG
主要顧客	Freeport LNG		Cameron LNG LLC	BP Berau
工事進捗率	約97%(Tr.1,2)	約91%(Tr.3)	約93%	約55%
現況 (3月時点)	<ul style="list-style-type: none"> 約7,000人の労働者が建設工事に従事している 工事終盤期の速やかな撤収作業に注力中 		<ul style="list-style-type: none"> Train-1のFeed Gas-in 達成 労働者の離職対策の継続。約7,800人の労働者が建設工事に従事 顧客との交渉を継続中 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高いベンダー・サブコンへの発注振替を実施 離島での労働者確保対策を実施 顧客との交渉を継続中

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報・CSR 部

Tel. 045-225-7734

<https://www.chiyodacorp.com/jp/>



© Chiyoda Corporation 2019, All Rights Reserved.

